

校長室の役割

本校出身の業者さんや保護者の方が用事で校長室を訪れると決まって「ここへ入ると緊張するなあ」とおっしゃいます。「先生に怒られる時しか入ったことがないもんなあ」と続きます。そう言えば、私自身このような仕事をしていながら、他校の職員室へ入るとき少し緊張します。何かしら初日の転校生を見るような先生方の視線をこちらが勝手に感じてしまうのです。なぜでしょうか。

私は、生徒をしかったり問いつめたりする場として校長室を使用することをできるだけ拒否しています。もちろん先生方は好んで生徒をしかっているわけではないのですが、そのような時は「相談室」を使っていただくことにしています。

そのことがいいのか悪いのか、最近の生徒は校長室や職員室に入ることに何のとまどいや緊張ありません。むしろ、教室よりくつろげる場所となりつつあるのかも知れません。校長室や職員室へ入ると緊張するというのは昭和生まれまでのようです。ちなみに3年生は平成4、5年生まれです。したがって、平成生まれの3年生はよく校長室をノックします。団体の時もあれば、単独の場合もあります。依頼、相談がほとんどですが校長との情報交換の場合もあるようです。

先日、団体で訪れた生徒の一人が「校長先生はここで毎日何しとるがん？」とたずねてきました。子どもにとってみれば、「友だちも話し相手も誰もいないだっ広い部屋にたった一人で1日何してんねん」という疑問は当然のことなのでしょう。

それで答えてやりました。「ここに一人でいたらさびしいよ。そこでさびしくなったらここで会議を開くことにしているんや。携帯とかプロフとか君たちの服装のこととかゲームセンターへの出入りとかのね。だから最近は全然さびしくないよ…」

